

治安・安全情報

(リヨン及びローヌアルプ州)

平成25年(2013年)8月
在リヨン出張駐在官事務所

目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
 - ① 窃盗犯罪事件
 - ② 粗暴犯罪事件
 - ③ 凶悪犯罪事件
 - ④ 知能犯罪事件
 - ⑤ その他の事件
 - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

1. 今月の安全・防犯のポイント

夏休みバカンス中の空き巣

警察によると、ローヌ県では昨年に比べて空き巣が増加しており、例えば6月1ヶ月間で比べると33%の増加とのこと。個人での犯行より、窃盗団のようなグループによる空き巣、特にカーヴやガレージなど施錠が甘い場所が狙われている傾向にある。夏休み中は、あらかじめ警察当局に届出をしておけば留守中の自宅を定期的にパトロールしてもらえる無料の制度(Operation tranquillité Vacances 6月の治安情報参照)があるが、この制度の利用者が毎年増加傾向にあり、2011年に比べ2012年の夏休み中の空き巣件数は11.08%下がっているとのこと。万が一、空き巣に入られたことが判明したら直ちに警察(電話番号17)に連絡すること。DNA形跡や証拠がそのまま収集できると、その後の取調べの重要な手がかりとなる。また近所で疑わしい動きがある場合にもすぐに警察に通報する事が望ましい。

老人狙いの策略詐欺泥棒に注意

警察によると、1人住まいの老人などが巧妙に騙されて、身分を偽った者を自宅内に入れてしまい、家の中から現金や貴金属などの貴重品を盗まれているケースが後を絶たない。水道・ガス・電気工事関係者や警察などを名乗る人物が訪ねてきても、簡単にドアを開けないように注意を呼びかけている。また県警では、万が一被害にあった場合には、直ちに警察(電話番号17)に通報して、服装や容貌などを伝えることにより、この悪質な犯人達をつかまえるために協力してほしいと呼び掛けている。

新運転免許証の発行開始

ローヌ県庁は、運転免許証の再発行が9月18日まで一時期停止すると発表した。これは、9月16日からヨーロッパ内で新しいICチップ内蔵の運転免許証が発行されることに伴って、ローヌ県庁での交付器械の設置のために、一時期発行がストップする為である。現在のピンク色の免許証は、そのまま2033年まで有効だが、2014年の1月からは希望すれば、この新しいICチップ内蔵クレジットカードサイズの免許証に交換することが可能。運転免許証の盗難

や紛失の場合、警察への届出書を携帯していれば、2ヶ月間はフランス国内に限り運転可能。また、日本の免許証からフランスの免許証に書き換えた場合、以前は日本の免許証が数か月後に返還されていたが、現在はフランス国内法令で返還されなくなっているため、日本の免許証が必要な場合には、帰国した際に再交付の手続きをするか、フランスの免許証から日本の免許証に再度切り替え直す必要がある。ただし、一時帰国の際は、フランスの免許証にJAF(日本自動車連盟)で作成した翻訳文を携帯すれば、運転することができる。

2. 邦人の被害事例

8月9日正午ごろ、短期旅行中の邦人女性が、アヌシー市の朝市場で友人と買い物をしていたところ、チャックのついていない肩掛けカバンの中に入れていた財布を盗まれていることに、支払いする時になって気がついた。わざとカバンの奥のほうに入れておいたとのことだが、人込みの中でいつ誰に盗られたかは、まったく気がつかなかったとのこと。

3. 地区別 治安情報集計結果

2013年8月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN県	Iser e県	Loir e県	合計
凶 悪 犯 (殺人、強盗、放火、強姦)			1				3	2		1		1				1	9
粗 暴 犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合)	1	3	4	1	2	1	3	1	2	3		1	1		1		24
窃盗犯 (侵入盗、乗り物盗、車上荒らし、ひったくり等)	1	1	8		1	2	3	1	2	9			1			1	30
知 能 犯 (詐欺、横領等)																	0
そ の 他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑行為等軽犯罪)							2	1		1		3	1				8
合計	2	4	13	1	3	3	11	5	4	14	0	5	3	0	1	2	71

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数で、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions

グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors

グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-D'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より）

① 窃盗犯罪事件

8月1日午後7時ごろ、リヨン市第3区の Marechal Saxe 大通りを走っていたバスの中で、乗車券コントロールの際に、コンピューターなどの器材がたくさん入った大きな鞆を所持している若者を TCL 係員が見つけた警察に引き渡したところ、所持していた器材は同日 Villeurbanne 市の Persoz 通りでの空き巣による盗難品だったことが判明した。この若者は前科のある20歳の男だった。

8月4日真夜中、Villeurbanne 市 Saint-Jean 地区にある Jean-Vilar 中学（現在閉鎖中）に空き巣が入ろうとしていると隣人からの通報を受けた警察が、現場に駆けつけたところ、2人組の男が雨戸や窓を壊して中に侵入しており、もう1人の男が見張りしていた。出てきた3人の男を警察が尋問したところ、1人は逃亡し、2人はペンチやドライバーなどとともに学校の骨格見本が入った鞆を持っていたため、現行犯で逮捕された。この2人は、ルーマニア国籍の25歳と30歳の男性で、県警が調査をしている。

8月10日夜中、リヨン市第1区のオペラ座の前で自転車を盗んだ2人組の17歳の男達が現行犯で逮捕された。

8月10日夜中、リヨン市第3区で、盗難スクーターをミニトラックに搭載しようとしていた浮浪者の29歳と25歳の2人組男が逮捕された。

8月12日、リヨン市第2区の地下鉄ベルクール駅で、以前交際していた男性宅から盗んだ小切手やクレジットカードを使用していた19歳の若い女性が逮捕された。

8月13日、リヨン市第6区の Sarrail 河岸のペニッシュで起きた空き巣事件で盗まれた盗難品を所持している14歳と15歳の少年達が、リヨン市第7区で逮捕された。

8月15日、Villeurbanne 市 Condorcet 通りにあるアパートで、夜中に怪しい音が聞こえるとの住人からの通報で、警察が現場に駆けつけた。16日午前3時ごろ、見張りをしていた若者が逮捕され、その仲間が建物地下で地下倉庫に侵入している現場に警察が介入した。この2人組は16歳と17歳の Villeurbanne 在住の若者で、窃盗のための様々な道具を持ち込み、12軒の地下倉庫カーヴに侵入して車のオーディオなどを盗んでいた。

8月19日、Villeurbanne 市 Hector-Berlioz 通りにある建物で、住人の女性が自分のアパートの上階で怪しい音がしているため警察に通報した。上階のアパートの住人はバカンスで留守中だったため、通報した女性が上階に上がってみると窓ガラスが壊されていた。ちょうど建物から5人の若者が荷物を持って駆け出し、バスに乗り込む場面を窓から目撃したところを警察に通報したため、警察は数分後バスから降りてきた犯人達を逮捕することとなった。前科のあるこの5人組は、ポータブルコンピューターやタブレット、携帯電話や宝石などを盗んでいた。

8月19日、Villeurbanne 市で28歳の男が逮捕された。この男は8月11日にリヨン市第7区の Capitaun Robert Cluzan 通りで空き巣に入り、携帯電話やPC機材などを奪った者だった。

8月20日午前11時ごろ、リヨン市第6区の Duquesne 通りに在住の88歳と87歳の高齢者宅に、偽の水道配管工と警察官が入り込んで、宝石や現金などが奪われた。配管工は水道配管の点検をしなければならぬと言い、そのあとにやってきた二人の偽警察官は、偽の配管工を逮捕したば

かりだと言いながらアパートの中に入ってきたとのこと。現在県警が取調中。

8月20日午後、リヨン市第3区の Garibaldi 通りで、警察官が職務質問した2人組の男達が所持していた携帯コンピューターが、8月4日及び7日、同じ通りにあるアパートに入った空き巣犯人が盗んでいったものらしいということで、警察署に連行して取り調べ、そのうち1人の自宅から盗まれた香水なども見つかった。この際に採取した指紋から、この2人組の従兄弟は2012年の12月にも第7区で空き巣を働いていたことが発覚した。

8月20日真夜中、ロワール県のサンテチエンヌ市 Maximilien-Evard 通りで、目撃者の通報により警察が駆けつけると、4人の若者が車（アウディ A3）のアルミホイールを外していた。一人は19歳の男で手袋をつけ道具をもっており、残りの3人は16歳から19歳の若い女でホイールのナットをもっていた。この4人はすぐに警察に連れて行かれ取調べを受けた。

8月21日朝、Villeurbanne 市在住の50歳の女性が、Gervais-Bussière 通りで歩いている途中、自転車に乗った2人組の男にハンドバックと身に付けていた金のネックレスをひったくられた。

8月22日午後1時ごろ、リヨン市第9区の Vaise 地域で、商店から現金を収集していた Loomis 社の車（この日は現金輸送車を利用せず、覆面普通車(Kangoo)を利用）が、スクーターに乗った2人組の男に襲われた。男達は2台のスクーターで車の行く手を塞いでから、車の中に催涙ガスを吹き込み、運転手を引っ張り出して現金を奪おうとしたが、結局上手く金庫が開けられず、犯人達はスクーターに乗って La Douchere 方面に向かって逃亡したとの事。現在県警が取り調べている。

8月25日午前0時半、リヨン市第3区の Lafayette 通りにある食料商品店に侵入しようとしていた若者3人組が、パトロール中の警察に尋問され、一人は逃亡したが、18歳と20歳の男達は逮捕された。

8月25日、リヨン市第7区で、車の窓ガラスを壊して車内の荷物を盗もうとしていた24歳のモロッコ国籍の男が逮捕された。この男は、この際の拘留釈放後、またすぐに同じ地域で車の窓ガラスを割ってサングラスを盗んでいた。目撃者の証言によって再度逮捕されたこの男は、すでに過去14回同じ様な窃盗や無免許運転の罪で逮捕されており、今回は26日に12か月の禁固刑が命じられた。

8月28日には、4人の高齢の女性が、指輪やブラスレット、かばんなどのひったくりの被害にあった。リヨン市第5区では、70歳代の女性が自宅アパートの駐車場に車を止めてアパートに向かう途中、後をつけてきた二人組の男に警察だと言って話しかけられ、建物のフェンスに押し付けられ、指輪をペンチで切るなどして奪われた。

8月28日正午ごろ、リヨン市第3区の Villon 通りにある一軒家のドアを壊して侵入した二人の少女のうち、一人は逃亡し、一人が捕まった。15歳ぐらいに見えるこのクロアチア国籍の少女は、実は11才で、ドライバーを持ち歩いていた。空き家かと思ったと自供している。

② 粗暴犯罪事件

8月4日、リヨン市第7区にあるプール la piscine du Rhone で、23歳の男が遊泳客に対して暴言をはき、その後警備員にも襲いかかり、その友人達が河岸の上から遊泳客に石を投げはじめたため、この男は警察に身柄を拘束された。

8月4日午後5時半、リヨン市第9区にある宿泊施設で、39歳の酒に酔った男が同じ施設内に滞在していた63歳の女性を激しく殴った。女性は重症で病院へ運ばれ、男性は警察に身柄拘束された。

8月4日午後6時ごろ、リヨン市第7区の Guillotière 大通りにあるタバコ店に、銃をもった強盗が入り、売上金を奪って逃げた。その後この20歳の犯人は Villeurbanne 市内で警察に逮捕された。

8月6日午後6時頃、Meyzieu 市 République 通りで、30歳代の男が大声で訳の判らない暴言を吐きながら徘徊していたところ、通りかかった60歳代の男性に理由もなく襲いかかり、殴る蹴るの暴行をした。この男は精神病院に入院していた経歴があり、すぐにつかまったが、被害者の男性は重症を負い救急病院に運び込まれた。

8月6日、リヨン市第3区に在住の68歳の女性が、45歳の Vénissieux 市在住の息子から暴力を受けたため、逃げて近隣の住人宅から警察を呼んだため、男は逮捕された。この母親と身体障害者の父親はこの息子の暴力に一年ほど前から耐え忍んでいた。母親は全治7日間、息子は精神鑑定を受ける。

8月6日、Villeurbanne 市在住の29歳の男が、2011年3月から続く妻への暴力のために自宅で逮捕された。

8月8日、Saint-Fons 市在住の36歳の男が、離婚裁判中の妻に自動拳銃を向けて殺すと脅した罪で逮捕された。この男は脅迫の後、妻の従妹に向けて拳銃を発砲したが怪我人はでなかった。この男の自宅からは、他にも拳銃や銃弾、フラッシュボールなどが見つかった。

8月9日、リヨン市第1区の Sathonay 広場で、TCL リヨン市交通機関の乗車券検査官の姿を携帯電話で動画撮影している22歳の若い男に、検査官が説明を求めると、この男は銃を取り出して検査官を脅して逃亡した。第1区に住むこの男はこのあとすぐに捕まったが、結局この銃はプラスチック玉の入ったおもちゃの銃であったことが判明した。

8月10日夜中、リヨン市第6区に在住の29歳の男が、第7区に住む元妻の自宅を訪れ、酒に酔ったこの男は刃物で元妻とその母親を脅し、2歳の娘を連れ去った。その後、第6区の自宅に隠れていた男は逮捕され、娘も無事に保護された。

8月11日夜中、リヨン市第9区で、免許停止になっている25歳の男が、酒気を帯びて車を運転し、道路交通法違反を幾つか犯して、さらに警察の指示に従うことを拒否したため逮捕された。

8月12日、リヨン市第3区の地下鉄 Part-Dieu 駅で、タバコの火を消すように TCL 職員から注意された20歳の男が、刃物を出して職員を脅してそのまま逃亡した。その後 Villeurbanne 市で逮捕されたこの男は、警察での身柄拘束中に4度も自殺しようとした。

8月12日、Villeurbanne 市で妻に暴力を振るった28歳のロシア国籍男性が警察に逮捕された。妻は23歳のベラルーシ国籍で、詳細を語らなかったが、近隣の住民によると暴力は今回が初めてではないとのこと。逮捕された夫は家庭内暴力ですぐに裁判にかけられる。

8月12日夜中、リヨン市第3区の Augagneur 河岸にあるペニッシュ船のクラブバー Ayers Rock で、口論のあと警備員から外に締め出された35歳の男が、腹いせに店の前にいた人物を殴って怪

我を負わせた。怪我人は病院に運ばれ、この男は逮捕された。

8月14日午後6時ごろ、リヨン市第3区で、歩いていた61歳の男性が26歳と19歳の2人組の男達に暴行され、40ユーロを奪われた。犯人達はこのあとすぐに George Pompidou 通りで逮捕された。

8月14日、リヨン市第2区の Général Delfosse 広場で、23歳の若い女性が交際していた26歳の男に、刃物で顔を三箇所切りつけられた。この犯人と連れの17歳の若い女性はすぐに逮捕されたが、この2人は刃物とドライバーを所持していた。

8月15日午前1時半頃、Caluire 市の la Boucle 通りで交通取締りをおこなっていた警察が、尋問した22歳の男に罵られ、激しく暴行を受けて怪我をした。男は身柄拘束となった。

8月19日午後9時ごろ、リヨン市第3区の Part-Dieu 音楽ホール前の階段で女性が倒れているとの知らせを受けた消防隊員が現場にかけつけたところ、若者達の集団が消防隊員の存在が気に入らないとのことと言争いになり、消防隊員4人のうち1人が殴られて膝に怪我をした。警察により暴行した2人の成人男性が逮捕されたが、残りの1人は逃亡した。

8月21日午前2時ごろ、リヨン市第2区と第3区にまたがる Wilson 橋の下にある公衆便所に20歳の女性が入っていたところ、数人組の何者かが激しくドアを叩き、出てきた女性を殴って暴行し、全治18日間の怪我を負わせた。犯人は捕まっていない。

8月25日夜、リヨン市第2区の République 通りにある Monoprix 店の横で、歩いていた二人組の若い女性が数人のグループに煙草を持っていないかと声をかけられ、無視して通り過ぎようとしたところ、店の壁に追い込まれて囲まれ、刃物で脅迫された。そこへ、女性達の友人男性二人が助けにはいったところ、暴力的な喧嘩がはじまり、結果二人の友人男性は全治11日の怪我を負った。加害者のグループは数分後に Grenette 通りで逮捕され、同様の前科があったこの男達は、判事により禁固2年の有罪となった。

8月30日午前1時ごろ、リヨン市第7区の Jean Jaurès 通りを自宅に向かって歩いていた20歳の若い女性が、何者かに突然鞆をひったくられた、その際、地面に倒れた女性は顔を何度も殴られた。

③ 凶悪犯罪事件

8月2日午真夜中、ロワール県の Saint-Chamond 市にあるスナック le Voluvilis のテラスは真夏の夜の宴で賑わっていたが、酒に酔った35歳の男がピistolをもって店内に押し入り、店主と店員を脅してレジの現金を出すように要求した。その場に居合わせた客の叫びで大騒ぎとなり、電気コードに足を引っ掛けて転倒したこの男は、客と共に店主が取り押さえて警察に引き渡された。

8月4日午後6時ごろ、リヨン市第7区の la Guillotière 大通りにあるたばこ店に、拳銃を持って覆面をした強盗が入った。犯人は売上金を奪ってスクーターで逃亡した。その後、その犯人の20歳の男は、7区の警察に逮捕された。

8月6日午前7時頃、リヨン市第3区 Dauphine 通りにあるタバコ店にヘルメットをかぶった2人の男が押し入り、刃物で店主を脅し催涙ガスを撒いた。逃亡するときには、20個ほどのタバコのカートンを盗み、スクーターに乗って逃走中1人の女性を轢き（軽症）、立去った。現在調査中。

8月13日、Saint-Priest 市のショッピングセンターの中にある携帯電話 SFR 代理店に、大きなサングラスをして仮装した強盗が入った。この男は、銃で2人の従業員を脅して縛りあげ、レジの現金と携帯電話40台ほどを奪い取って逃亡した。現在警察が調査中。

8月16日朝、リヨン市第8区 Paul Santy 通りにある商店に、覆面・手袋をした2人組の男が侵入し銃で店員を脅迫、顔をゴルフクラブで殴った後、金庫を開けその中身を奪って逃亡した。現在県警が調査中。

8月27日午前8時、リヨン市第8区にあるスーパーALDI で、トラックが配達荷物を積み下ろしている間に、店の裏から覆面をして銃をもった二人組の男が入り込み、従業員を脅迫して現金を奪い、そのまま走って逃亡した。現在県警が調査中。

④ 知能犯罪事件

今月は特になし

⑤ その他

8月13日、リヨン市第9区 Douchère 地区のパトロールをしていた警察官が、アパート内の共有部分で疑わしい電気配線設置のあるアパートを見つけドアをノックした。アパートの住人の女性は40歳で、アパート内で大麻の栽培をしており、警察は25本のマリファナの木を発見した。女性は隠さずに自供し、インターネットで種を購入して、自分で消費するためにだけに栽培していたとのこと。この女性に前科はないが、11月に裁判所に召集される。

8月28日、リヨン市第8区で、運転中バックミラーでパトカーが見えたために、窓ガラスから所持していた大麻を10グラム投げ捨てた男が、それを見逃さなかった警察に逮捕された。

8月29日、リヨン市第4区の Cerisaie 公園ではエレクトロミュージックの祭り(Open Air Encore)が行われたが、その際に大麻樹脂の闇販売をしていた17歳の少年が警察から尋問され、所持していた125€を没収されたところ、その後この現金を返せと警察官に殴り掛かって全治10日の怪我を負わせた。このほかにも、麻薬などの闇取引や大量の酒気を帯びた若者などの問題があった。

⑥ テロなどに関する一般治安情報

8月10日に、リヨン近郊リモネー市にある Mont Verdun 空軍基地で、ラマダンの終わった8月8日に、Venissieux 市にあるイスラム教寺院に、銃弾を打ち込もうと計画していた23歳の軍曹が逮捕された。この軍曹の近親者が、軍曹所有の過激主義的書類を見つけ警察などに通報警告したために、イスラム教寺院の攻撃は未然に免れた。この軍曹は孤独で精神的に不安定であり、最近では失恋のために落ち込んでいたようだが、警察の取り調べの際の自供によると、2012年の8月20日にジロンド県の Libourne 市のイスラム教寺院に火炎瓶を投げたことも認めたとのこと。イスラム嫌悪に関する監視会(L'observatoire contre l'islamophobie)によると、今年に入ってから、反イスラム行為は50%増加しているらしい。

5. 今月の出来事

街中で自殺未遂

8月6日朝、リヨン市第2区の警察に、Edouard-Herriot 通りにバルコニーの上をふらついている若い女性がいるとの通報があり、警察がかけつけたところ、この女性は酒に酔っているようで手すりを越えてふらついていた。建物の下から警察が説得を試み、別の警察官が建物内に入っていった

が、女性が滑ってバランスを崩し手すりから落ちそうになって奇跡的に腕が手すりをつかみ宙ぶらりになった。建物内にいた警察官がドアを壊して中に入り、無事女性は助けられた。女性は最近失業したため自殺しようと思ったとのことだった。

リヨン・ブロン空港で第二次大戦の爆弾撤去

リヨン・ブロン空港の道路拡張工事の際、地下に第二次世界大戦の際のアメリカ軍の爆弾が2つ見つかった。このブロン市地区は第二次大戦時に空爆があった場所のため、工事の際には必ず事前調査をする事になっていたために発見された。8月8日の午前5時に撤去作業が行われた。

テットドール公園に閉じ込められたら？

リヨン市第6区にあるテットドール公園は、夏期(10月14日まで)は午前6時半～午後10時半までオープンしており、都会の中の市民の憩いの場所として毎日たくさんの方が訪れている。この公園では、午後10時ごろには、訪問者に向けて、閉園のために外に出るよう呼びかける車が公園内を回ってアナウンスが入るが、毎年夏期3ヶ月の間に15回ほどは、出遅れて閉じ込められてしまうケースがあるとのこと。万が一閉じ込められた場合、各門扉には夜間警備警察につながる呼び鈴が設置されているのでそれを鳴らすか、あるいは6区警察 TEL 04 72 10 93 00 に電話すること。

山岳事故

夏にはアルプスの山にたくさんの登山者が押し寄せるが、山岳地帯では天候などが変わりやすいため、常に危険をはらんでいる。今月はモンブランで雪崩の下敷きになって2人のイタリア女性が死亡、また、イゼール県のエクラン山脈でも50代のフランス人男女が氷河クレバスに墜落して死亡している。

FEYZIN 製油所煙突から黒いガス

8月14日、リヨン近郊、南への高速道路 A7 号線からよく見える FEYZIN 製油所の煙突から7月に次いでまた黒い煙が排出された。TOTAL 石油会社によると、原油からプラスチック製造のためのエチレンガスを製造する工程で、技術上の問題によりエチレンガスの精度が純正でなかったために、貯蔵することが不可能なガスということで、煙突(フレアスタック)から排出したとのこと。責任者は都市ガスを燃やしているようなもので有毒物質は無いが、ガスの燃焼により微粒子の煤がでてしていると話している。この工場では、7月にも技術上の問題で3日間同じように黒い煙を排出した。

ロマ(ジブシー)の集落で大火災

8月15日午後1時半ごろ、Vaulx en Velin 市に約350人のロマが住んでいると見られる集落で大火災が発生し、30から40の小屋が灰と化した。ロマ内部での諍いが原因と見られている。8月24日には、県知事の判断でこの集落から約400人のロマ住民はすべて立ち退かされた。